

**文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム**  
**平成 31 (2019) 年度「職域・地域架橋型-価値に基づく支援者育成」**  
**職域架橋型コース (C-1)・地域連携型コース (C-2) 募集要項**

1. プログラムの目的及び内容

患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成する。

Co-production (当事者と回復を共同創造できること)、

Trauma-informed care (トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたること)、

Organizational change (これらの理念を実践できるよう組織を変革すること)、

をコアとなる素養と位置づけ、これらを身につけるよう、実践的な学習を深める。

上記の三つの素養の獲得を通じて、患者の価値にもとづく支援 (value-based service) を行う能力が身につく。

また所定の時間 (年間 120 時間の講義受講及び実習) を修了した際に授与される履修証明により、患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や医療と地域をつなぐ支援のできる高度な医療人材であることを客観的に明らかにすることができる。

職域架橋型コースは、心理系職員等の総合病院等の医療のなかで多職種協働ができる、あるいは医療と協働できる人材の育成をめざす。

地域連携型コースは、行政職員や PSW 等の医療と地域 (教育、保健、福祉、行政) の連携をコーディネートできる人材の育成をめざす。

2. 応募資格

(1) (2) 双方を満たす方

(1) 4 年制大学卒業者、または大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められた 22 歳以上の方

(2) 医療、学校、行政 (保健・福祉) などの領域で対人支援職を目指す方。または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

3. 募集人員

職域架橋型コース (C-1) 10 名

(医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が対象。

看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントにもとづく支援力向上を目指す方等も対象に含む。)

地域連携型コース (C-2) 10 名

(主に行政、社会福祉、学校教育、NPO 法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象。医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含む。)

4. 受講期間

2019 年 4 月～2020 年 3 月

5. 受講内容

C-1 コース

精神医学・発達精神医学、心理検査、心理療法、研究法、精神分析の講義や演習 (8 時間×12 日) と学内 (6 時間×2 日) や学外 (6 時間×2 日) 連携施設における実習。

C-2 コース

共同創造の時代のメンタルヘルス、精神保健サービスの構築と質の評価、地域保健の現場、地域連携といったテーマの講義や演習 (8 時間×12 日) と、学内 (6 時間×2 日) や学外 (6 時間×2 日) 連携施設における実習。

(詳細は別紙プログラム一覧参照)

6. 出願書類

- (1) 履歴書（書式自由）
- (2) 志願理由書（A4 1枚程度）
- (3) 応募資格（1）を証明する書類（卒業証書、在学証明書等）の写し等  
    応募資格（2）を証明する書類（免許等）の写し等。資格未取得等の場合には必須ではない。

7. 出願先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F TICPOC 事務局

8. 出願期間

平成 31 年（2019 年）1 月 15 日～平成 31 年（2019 年）2 月 15 日（随時 1 次選考・2 次選考を実施）

9. 選考方法

1 次選考：履歴書、志願理由書等の書類審査により選考する。

2 次選考：面接により選考する。

10. 選考発表及び受講手続き

平成 31 年（2019 年）2 月 28 日

選考の結果を同日中に電子メールにて通知する。

受講を認められた方には関係書類を送付する。

11. 受講料

各コース 1 年間 9 万円（学生は 5 万円）

※他コースの受講者が本コースの講義を単回受講する場合は、1.5 万円/日（学生は 0.8 万円/日）の受講料となる。

12. 問い合わせ先

〒113-8655

東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学 CRC A 棟 1F TICPOC 事務局

TEL：03-3815-5411（内線:36052）

E-mail：utokyo.co.production.training@gmail.com

URL：http://co-production-training.net/

13. その他

採用者決定後、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。応募書類は本応募の用途に限り使用し、こちらで責任をもって廃棄させていただきます。

【別紙プログラム一覧】

2019年度

C-1 コース (予定)

講義内容	講師
5/11 (土)	
【精神医学】 精神科受診見立て・見極め	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師
【発達】 自閉スペクトラム症のアセスメント	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科 黒田美保 教授
5/12 (日)	
【研究法】 質的研究入門 —データ分析のはじめの一步	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授
【精神分析】 精神分析という視点	上智大学総合人間科学部心理学科 藤山直樹 教授
7/20 (土)	
【精神医学】 精神疾患Ⅰ 発達障害・児童思春期	東京大学大学院医学系研究科 金生由紀子 准教授
【発達】 自閉スペクトラム症の支援現場の実際	ときわこども発達センター 館農幸恵 児童精神科医 (株) スペクトラムライフ 桑野恵介 代表
7/21 (日)	
【心理療法】 コラージュ療法の理論と実践 -コラージュ・ボックス法を中心に	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
【心理検査】 知能検査や認知機能検査による アセスメント	上智大学総合人間科学部心理学科 松田修 教授
9/21 (土)	
【精神医学】 精神疾患Ⅱ	東京大学大学院医学系研究科 里村嘉弘 助教
【発達】 自閉スペクトラム症の早期支援	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科 黒田美保 教授
9/22 (日)	
【研究法】 研究法～精神保健/医学研究の始め方～	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
【精神医学】 精神医学の多元的理解	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授

講義内容	講師
11/9 (土)	
【精神医学】 精神科薬物療法	東京大学大学院医学系研究科 神出誠一郎 准教授
【心理療法】 認知行動療法 1	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
11/10 (日)	
【心理療法】 医療領域でのコラージュ療法 -ターミナル領域でのコラージュ・ボックス法の実際	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
【精神分析】 力動的視点によるチーム支援の有効化	京都大学 松木邦裕 名誉教授
1/18 (土)	
【精神医学】 多職種連携	東京大学医学部附属病院 市橋香代 特任講師
【心理療法】 認知行動療法 2	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
1/19 (日)	
【心理療法】 学校臨床におけるコラージュ療法 -スクールカウンセラー場面でのコラージュ療法導入の 可能性	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
【心理検査】 見えない心を可視化する — 心理アセスメントによるケース理解—	中村心理療法研究室 中村紀子 国際ロールシャッハ学会会長 臨床心理士
3/14 (土)	
【精神医学】 精神疾患と脳	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
【心理療法】 認知行動療法 3	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
3/15 (日)	
【研究法】 論文執筆～研究のまとめかた～	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
【心理療法】 ストレスケアのためのコーピングと 認知行動療法	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 伊藤絵美 所長

## C-2 コース (予定)

	講義内容	講師
4/13 (土)	精神保健医療福祉と精神医学研究のリカバリー —プログラムの導入に代えて—	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
4/14 (日)	当事者研究と専門知—精神保健サービスの 共同創造の方法論を目指して—	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授
6/15 (土)	対人支援サービスの質の評価と PDCA サイクル	東京大学大学院工学研究科 水流聡子 特任教授
6/16 (日)	全市民を対象とした地域包括ケアと 横串としてのメンタルヘルス	川崎市精神保健福祉センター 竹島正 所長
8/17 (土)	災害時の個人と地域のメンタルヘルス	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
8/18 (日)	虐待対策と子ども家庭支援	文京区子ども家庭支援センター職員 / 祐ホームクリニック 夏堀龍暢 精神科医師
10/19 (土)	死生学の展開とグリーフケア	上智大学グリーフケア研究所 島藺進 教授
10/20 (日)	臨床心理学と人類学 —当事者との共同創造に向けた心理臨床の再考—	十文字学園女子大学人間生活学部 人間発達心理学科 東畑開人 講師
12/21 (土)	ピアサポートとリカバリー	東京大学大学院医学系研究科 宮本有紀 准教授
12/22 (日)	精神保健研究の方法論	国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長
2/15 (土)	学校メンタルヘルスと若者の自殺対策	NPO法人 Light Ring. 石井綾華 代表理事
2/16 (日)	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長